学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	デザイン史	単位数	1 単位	年次	3 年次
使用教科書	デザイン史（東京電機大学出版局）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザイン史の授業では、造形とデザインの鑑賞により創造的かつ効果的なデザインに必要な資質・能力を育成することを主眼として内容を構成しています。工業技術の進展により多様化する工業製品の製造に対応するため、過去の造形・デザイン事例の鑑賞や体験を通して得られる知見やアイデアをもって身近なデザインへ生かすために歴史的な背景を踏まえて理解するとともに、デザインにおける様々な状況に対応できる技術を身に付けるように学習します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
デザイン史を人間がものをつくりだしてきた創造の営みを振り返る視点で捉え、知識・技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
デザイン史を人間生活、自然、社会及び工業生産を相互に関連付けて考察し、理解を深めることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
造形とデザインの鑑賞により創造的かつ効果的なデザイン力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形とデザインの歴史に関する基礎的・基本的な技術と知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解し、環境に配慮して計画し、その技術と知識を適切に活用している。	造形とデザインの歴史に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 造形とデザインの歴史に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	造形とデザインの歴史に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	デザイン史①	西洋のデザイン ・古代の生活と造形	a：西洋の風土と文化を知り、デザインの構成を「数学的・抽象的概念」としてとらえて意匠化することを理解し、関連する技術を身に付けている。古代の造形文化に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代のデザイン動向を理解している。 b：歴史的なデザイン技術に着目して、西洋のデザインに関する課題を見いだすとともに構想を立て、問題解決に向けて適切に判断する能力が身に付いている。 c：古代の造形文化の流れに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート
2	デザイン史②	西洋のデザイン ・中世の生活と造形 ・近世の生活と造形	a：西洋の風土と文化を知り、デザインの構成を「数学的・抽象的概念」としてとらえて意匠化することを理解し、関連する技術を身に付けている。中世・近世の造形文化に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代のデザイン動向を理解している。 b：歴史的なデザイン技術に着目して、西洋のデザインに関する課題を見いだすとともに構想を立て、問題解決に向けて適切に判断する能力が身に付いている。 c：各時代の造形文化の流れに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート

3	デザイン史③	西洋のデザイン ・近代の生活と造形 ・近代のデザインの成立と発展 ・現代のデザイン	a：西洋の風土と文化を知り、デザインの構成を「数学的・抽象的概念」としてとらえて意匠化することを理解し、関連する技術を身に付けている。歴史的な西洋のデザインの事例や造形活動に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代のデザイン動向を理解している。 b：歴史的なデザイン技術に着目して、西洋のデザインに関する課題を見いだすとともに構想を立て、問題解決に向けて適切に判断する能力が身に付いている。 c：各時代の造形文化の流れに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	観察 プリント レポート	観察 プリント レポート	観察 プリント レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度